



出小だより

<http://izumo-es.izumozaki.ed.jp/>
E-mail izumo-es@izumozaki.ed.j

出雲崎小学校だより No.6
令和2年10月5日

運動会の意義

9月26日(土)に、運動会を行いました。前日は大雨で実施が心配されましたが、当日は雨もほとんど当たらず、プログラム通りに行うことができました。今回の運動会は、コロナウイルス感染症予防のため、5月から9月に予定を変更し、しかもプログラムを大幅に削っての実施となりました。そうまでして実施に踏み切ったのは、運動会を実施することの意義が大きいと判断したからです。

私自身は、運動会の意義を次のように捉えています。

1 社会性が育つ

運動会は、個人や学級としてではなく、全校という大きな集団で、児童が協力して行う活動です。赤組・白組という異学年の集団に分かれて競うことにより、異なる複数の学年が協力して互いに助け合ったり、励まし合ったりしていきます。応援や競技を通して自分中心、学級中心だった自分が、より大きな集団のために頑張ろうとする姿が変わっていきます。

また、リーダーシップ、フォロアーシップが培われます。例えば6年生が苦手意識を乗り越えて、下級生に大きな声を出して指示をしたり、遊びたい気持ちを我慢して休み時間や放課後に練習や運動会の準備をしたり、下級生が応援団の声に合わせて精一杯の大きな声と動きで応援を盛り上げたりと「みんなのために」力を合わせて頑張ろうとする意識が育ちます。

2 心が鍛えられる

競技は、勝敗が明確に分かります。頑張っても1位になる喜びと頑張っても1位にならない悔しさをそれぞれ経験します。子供の頃からこの「栄光と挫折」を経験していくことはとても重要です。特に、負けた時に、自分の負の感情とどう折り合いを付けていくか、どう立ち直っていくかが、将来子供達が遭遇するであろう困難に立ち向かう力を育むことにつながります。厳しいかもしれませんが、敢えて挫折を経験させる場として運動会は重要な意味を持ちます。

子供たちは、6年生を中心に応援練習、準備、競技と大変頑張ったと思います。閉会式での赤組、白組の応援団長のさわやかな顔には「やりきった感」が溢れていました。コロナの感染予防のため運動会自体を行わなかった学校もたくさんあると聞いていますが、実施して良かったと思います。

コロナの終息はまだまだ先のこととなりそうですが、予防策をしっかりと講じながらも、教育活動を前に進めたいと思います。

お忙しい中、応援にいらしていただいた保護者の皆様、大変ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

校長 五十嵐 悟

頑張った!運動会



11月 

- 2日(月)～6日(金) Q-U調査
- 13日(金) ふた葉まつり ※今回は児童のみで実施
- 18日(水) 歯科検診
- 26日(木)・27日(金) 個別懇談 ※希望される方のみ
- ☆ 14日(土)に予定していた「全校お弁当の日」は中止といたします。
- ※ 14日(土)は週休日とし、16日(月)は、通常の授業を行います。